

- 4 学会・イベントハイライト
- 5 ポートレート／井澤秀典
- 6 生薬とからだをつなぐ (51)／鈴木達彦

10

巻頭企画

鍼灸マッサージ海外事情2016

海外の鍼灸マッサージ学校に通う日本人に聞きました!／千田和未、斎藤大介
続・知っておきたい各国事情アラカルト
ハワイ州の鍼灸認定試験の例題から出題傾向をみる／マイク橋本

- 37 誌上で鑑別トレーニング 外傷整復道場 (51)／大森淳次
- 40 メジャー・トレーナーズメソッド (39)／河野智和・城所竜一
- 44 福島県立医科大学会津医療センター 鍼灸レジデントレポート (8)／武田真輝
- 50 鍼灸界の巨星たち 小川晴通 (1)
- 54 今月の販促カレンダー&プロモーション
- 59 学会・イベントレポート
- 62 業界ニュース

65

特集

頸部痛に対する鍼灸マッサージ

井澤秀典 一ノ瀬宏 木下 誠 Joseph E. Muscolino

- 91 今ならこうする 教訓多き後悔症例集 (60)／野口 創
- 95 鍼灸師のためのカルテ講座 (25)／津田篤太郎
- 102 チクチク療法の臨床 (2)／長田 裕
- 106 食の悩み聞きます (13)／辻野将之
- 110 按摩と関節運動法によって右下腿部の痛みが改善した一例／田中 勝
- 115 経絡と十二脳神経の関係／平田 覚・相良光宏・牛島弘貴
- 123 私の臨床経穴取穴術 (20)／松浦穂士・藤田 充・樋口雅一・松浦英世
- 130 WFASだより (2)／形井秀一
- 132 私の下積み時代 (37)／蛭田 茂
- 138 即実践! 受療率4%時代の鍼灸院経営術 (3)／富田秀徳
- 144 鍼灸ワールドコラム (58)／建部陽嗣・樋川正仁
- 147 臨床に活かす古典 (47)／篠原孝市
- 150 鍼灸パラダイム談義 (61)／武田時昌
- 152 世界メディアが伝える「鍼灸」最新動向 (106)／中田健吾
- 156 大阪府における小児鍼の実態調査 (2)／尾崎朋文・蒲田裕美子・大月隆史・酒井喬志
- 167 ニカラグア東洋医学小史／八巻晴夫
- 170 ネパール・カリコラ村での鍼・マッサージ治療ボランティア／辻村 猛・田中美香
- 176 アメリカ・オレゴン州で挑戦する鍼灸師／山本 崇
- 180 短歌欄入選 (206)／大河原惇行
- 181 医療記事キャッチアップ
- 186 あん摩マッサージ指圧師、はり師きゅう師養成施設全国一覧・所在地一覧
- 191 今月の読者の広場
- 201 編集後記

続

知っておきたい 各国事情アラカルト

グローバル化が急速に進展している今、海外で活躍したいと夢を抱く鍼灸マッサージ師も多いはず。現地で治療していくには何が必要となるのか。2013年7月号「知っておきたい各国事情アラカルト」の続報として2016年の各国・各地域の資格事情などについて、現地に詳しい関係者より回答を得た。

※2013年7月号と重複している項目、回答(当時とそれほど変化していないため)もごさいます。
※日本円は2016年2月上旬の為替によって概算したもの。

アメリカ カリフォルニア州

Q1 鍼灸師として働くための資格の有無

州指定のライセンス試験をパスする必要がある。

Q2 日本人鍼灸マッサージ師の数、学校の数

不明。

Q3 鍼を学ぶための学費の目安

学校によって異なるが、6万ドル(約720万円)前後。

Q4 渡航前に日本でやっておくべきこと

英語の勉強と、勉強資金の確保。

Q5 給与、雇用形態などの特徴について

独立クリニックを営んでいるケースがほとんどである。

Q6 その国ならではのエピソード

カリフォルニア州は、全米50州のなかで最もアキュパンチャーが普及している州のひとつである。そして、アキュパンチャーという言葉は、鍼治療だけではなく、灸、漢方薬、あん摩・マッサージ・指圧、吸い玉、医療気功など、そのほかの東洋医学の治療法を含む代名詞として、一般的に使われている。

Q7 現地最新事情、ニュース、流行の手法

接触鍼(contact needle)に対する関心度がアップしている。

(協力: パークレー鍼・統合医療専門職大学院 田中康夫)

アメリカ ニューヨーク州

Q1 鍼灸師として働くための資格の有無

ニューヨーク州の定める鍼灸師免許が必要となる。この資格の申請の条件は21歳以上で指定された学校教育を修了していること。取得には、全米の鍼灸師試験に合格する必要がある。学校教育には鍼灸学校だけではなく、認定された大学での生物科学を含んだ最低60時間以上の履修のほかに英語を第一言語としな人は英語力を証明するテスト(TOEFL)なども必要。

Q2 日本人鍼灸マッサージ師の数、学校の数

ニューヨーク市内に数人。

Q3 鍼を学ぶための学費の目安

学校によって多少の差があるが、鍼の学科のみで6万ドル(約720万円)。漢方などの総合的な東洋医学学科は約8万ドル(約960万円)。生活費、教科書代などは含まれない。

Q4 渡航前に日本でやっておくべきこと

留学希望者は、まずは学校に入学するための英語力と資金力が最も大切。

Q5 給与、雇用形態などの特徴について

ニューヨーク州は全米でも鍼灸師の所得が高く、税引き前で年収5万ドル(約600万円)から10万ドル(約1200万円)。もちろん個人差がある。

Q6 その国ならではのエピソード

自由の国アメリカなので、基本的に自由で多種多様な考えを持った人がいることが特徴。どんな症状でもまず鍼灸を受ける人がいれば、まったくもって毛嫌いするアメリカ人もいます。一般にはまだまだ伸びていて、日本よりもクールなイメージがある。マッサージとセットではなく、東洋医学を追求している人が多いので、肩こりや腰痛よりもストレスマネジメントなどさまざまな分野で活躍している。

Q7 現地最新事情、ニュース、流行の手技

インフレによる物価の変化は別として、学校の授業料が高くなってきている。それだけ生徒が集まっている。稼げる魅力的な職業になりつつあるとも考えられる。鍼灸師にとっては、理学療法士やカイロプラクターが行うドライニードル鍼治療が州によって認められ、徐々に勢力を伸ばしていることが危惧すべき問題であり、今後は日本でも起こりうる可能性がある。

(協力: Nakano Chiropractic 仲野広倫)

アメリカ ハワイ州

Q1 鍼灸師として働くための資格条件

理論1755時間以上、臨床870時間以上の教育を修了・卒業し、ハワイ州の鍼灸免許試験に合格すること。ただし、日本の鍼灸学校の履修時間もカウントされる。基準は成績よりも履修時間で査定するので、必ず書類に明記する。受験申請料は50ドル(約6000円)、試験を受けるには就労認可あるいは永住権が必要。2年ごとの免許の更新があり、更新を1年間怠ると無免許となり、再試験を受けるばかりか、再試験の申請時に書類が現行の学習基準に満たない場合はその分の追加履修を余儀なくされる。鍼灸師は漢方薬の取り扱いと処方ができるため、州免許試験に漢方薬の試験が近年追加される予定。就労認可のビザの取得は、アメリカに50万ドル(約6000万円)以上の事業投資をしている場合で、事業をしている間はビザが発給される。また、永住権は移民局が行う抽選でうまく当たることもあるが、仕事の受け入れ先があることが条件となり、移民法に通じた弁護士の書類作成費は1時間あたり約250ドル(約3万円)から300ドル(約3万6000円)、もしくはアメリカ市民と婚姻をすれば永住権の申請ができる。永住権取得後5年間アメリカに継続居住していれば市民権(選挙権)を取得する権利を得る。ハワイ州では毎年30人ぐらいが鍼灸師免許を取得しているが諸事情により他州に移住する場合もよくある。

Q2 日本人の就労鍼灸マッサージ師の数、鍼灸マッサージ学校の数

ハワイ島にあったHawaii College of Oriental Medicine校が2015年にホノルル市のInstitute of Clinical Acupuncture and Oriental Medicine (ICAOM) 校に合併された。同ホノルル市にはWorld Medicine Institute (WMI) もあり、ハワイ州ではこの2校のみ。

Q3 鍼を学ぶための学費の目安

ICAOM校を例にすると、授業料および諸経費を概算して、4年間で4万9500ドル(約469万円)。

Q4 渡航前に日本でやっておくべきこと

できれば現地に旅行してみると気候風土や住むのに治安がよいのか、自身の英語力で通用するのかを見極められる。そのほか日本領事館を訪ねてアドバイスを得るか、現地の新聞などを読むなりするとよい。

Q5 給与、雇用形態などの特徴について

基本的にアメリカの鍼灸治療院は個人診療の開業形態が主なので、雇用のケースは稀である。時折、カイロプラクターや自然療法医の診療所に雇用されるケースもあるが適応症が類似するので長く続かない現状も見受けられる。もし個人開業が希望なら、ほかの医療関係の診療所の一室を又貸しさせてもらうなり、ほかの鍼灸師と共同でビジネスビルの一室を借りるなりするとよい。しかし共同経営の場合、診療が順調であれば問題はないが、ビジネスが下向きになった場合、家賃などの割り当てなどでパートナー関係がこじれることも考慮しておく必要があるだろう。

Q6 その国ならではのエピソード

日本と異なり、治療室は個室が基本。日本のようにカーテンで仕切るだけでは患者が安心しない。漢方薬の場合、生薬での投与は煎じて服用する習慣がないため、ハワイに限らず一般のアメリカ人は生薬を煎じた独特の香りが苦手なカプセルか錠剤あるいは顆粒散薬を処方するが、欧米人は植物アレルギーを持つ人もかなりいるので難しいこともある。ハワイ州は高齢者が多いため、副作用の少ない鍼灸や漢方などの東洋医学の需要は今後も安定していくと考えられる。保険診療の場合、漢方薬の支払いは除外される。アメリカでは国民皆保険という概念はないので、プライベートの保険会社が病院や医師と契約する形態である。ハワイでは労災保険(州の労働法が絡んでいるため医師の診断と紹介を要す)と交通事故保険(医師の処方不要。鍼灸師が診断する)が主であり、

現行法では鍼灸はカイロプラクティックとの抱き合わせで合計30回、一回の治療費は75ドル(約9000円)が上限でカバーされる。保険支払い請求書類は、既定の保険支払い請求用紙と治療記録の添付を要す。

Q7 現地最新事情、ニュース、流行の手技

ハワイでは中国鍼よりも日本式鍼治療が好まれる。気候が温暖なため、体表の毛穴が開き、中国式の太鍼では施鍼時により痛みを感じる度合いが多い。また、日系人診療所の清潔さにおいても患者が安心するようである。

アメリカでは時々、日本から首藤傳明氏、積聚治療の小林詔司氏、ボストンからKiiko Styleの松本岐子氏がセミナーを行っている。ハワイだけでなくアメリカ人の鍼灸師は日本の診断法、術式、施灸法や片手挿管などに興味があるようだ。

(協力：ハワイ州政府鍼灸審議委員会委員 マイク橋本)

カナダ オンタリオ州

Q1 鍼灸師として働くための資格の有無

各州によって異なるが、トロントのあるオンタリオ州では2013年に法的に免許制度が成立。すべての鍼灸師は州政府が課す鍼灸資格試験に合格後、正式に登録されなければ鍼灸治療はできない。施行前から職業としている鍼灸師に対しては、一度だけ例外として暫定免許制度があり、学科試験は免除されるが、法規、衛生分野のみの試験が必要。

Q2 日本人鍼灸マッサージ師の数、学校の数

日本から来ている日本の有資格者鍼灸師は多いが、実際の数の把握は難しい。暫定免許習得者は、おそらく10～20人程度。主な学校は、トロント市内で4校。

Q3 鍼を学ぶための学費の目安

人口550万のトロント市には53万人以上の中国人が住んでおり、中国人が運営する数校の中医学院が鍼灸師の主な教育機関となっている。ほとんどは私立校で、その数は10校ほど。最近ではGeorge Brownという公立校のカリキュラムで鍼灸修得コースが新設された。修業時間数は全科目で2200時間。学校は2～3年のコースで夜間が主である。学費は3万カナダドル(約250万円)前後。

Q4 渡航前に日本でやっておくべきこと

鍼灸師としての診療技術もさることながら、語学の問題が一番の難関。英会話の勉強は必須。

Q5 給与、雇用形態などの特徴について

日本同様に、主に個人経営の鍼灸院で就業し、給与はコミッション(完全歩合制)。

Q6 その国ならではのエピソード

今回の鍼灸師法では、ほかの医療従事者、医師、カイロプラクター、看護師、理学療法士などの既存の医療資格者は、それぞれの規則に従って鍼灸治療を行うことが可能。それぞれの施設で鍼灸治療は積極的に取り入れられている。それらの施設で補助的に用いられる鍼灸治療と、専門性の高い本物の鍼灸治療との相違を明確にできない鍼灸師、鍼灸院は、今後、淘汰されていくと思われる。

Q7 現地最新事情、ニュース、流行の手技

州政府認可の免許管轄団体である伝統中国医学鍼灸協会(College of Traditional Chinese Medicine and Acupuncturists of Ontario)の名称が表すとおり、鍼灸は、中医鍼灸(TCMA)として位置づけられ、厳格に管理されている。

現地の学校で教えられている鍼灸は、すべてが中医鍼灸。よって、それぞれの診療施設で、日本のように、〇〇式、〇〇流鍼灸治療などの独自の自己流的な鍼灸治療を行った場合、診断、治療方針、治療方法などが中医鍼灸に沿っていないければ、定期的に行われる立ち入り監査で警告、戒告処分等が下される。

(協力：登美ヶ丘治療院 野口創)

フランス

Q1 鍼灸師として働くための資格の有無

鍼灸治療は、医師(9年制)か助産師(5年制)免許を受け、大学医学部での鍼灸専門医研修(3年間+1年の臨床研修)を修了した有資格者のみに認められ、例外として少数の鍼灸研究者や教育者が挙げられる。それ以外の手段としては、フランス国内の中医師養成学校を卒業して、フランス国立統計経済研究所規範が認める個人企業や自由業として活動する方法がある。

Q2 日本人鍼灸マッサージ師の数、学校の数

フランス国内法が「医療類似行為」と定義する療法(代替医療、自然療法など)に、欧州で人気を有する指圧やマッサージが含まれている。フランスにも指圧学校があり、少数の日本人指圧師もいる。私立の中医学専門学校も約20校(1校のみ日本鍼灸)があるが、医師免許を所有していない鍼灸師たちは、「鍼灸治療」

以外の看板を掲げて活動を行っているのが現状。

Q3 鍼を学ぶための学費(1ユーロ=130円で換算)

パリ、マルセイユ、リヨン、ニース、ストラスブールなどの10大学医学部に鍼灸専門過程コースがある。フランスの医学大学はすべて国立のため、医学部年間授業料(2015年)も約5万4000円~9万7000円、鍼灸専門医研修費は約6万7000円と欧州内で最も学費が安い。私立の中医学専門学校(3年制)では最低でも年間40万円程度の学費が必要となる。

Q4 渡航前に日本でやっておくべきこと

現時点では、日本の鍼灸資格や中国の中医師資格はフランスでは認められていない。私立の中医学専門学校(修士課程同等)に入学する場合、まずは、フランスの滞在許可を得るために、①在日フランス領事館で就学ビザ取得、②フランスの教育施設の入学許可書、③3年間の学費および滞在費用と帰国費用残高証明書、④医療関連授業を理解できるフランス語の語学力が必要である。

Q5 給与、雇用形態などの特徴について

鍼灸専門医の平均月収は約43万円(内科医は87万円、開業医は119万円)。ちなみに治療費の平均は約45~90ユーロ(5850円~1万1700円)。独立開業できるかどうかは現時点では明確ではないので、中医師資格取得後、フランス人あるいは中国人経営者に雇用されることになる。滞在許可および就労ビザ(通常、雇用主が申請)があれば、一般フランス人と同じ雇用形態(医療・社会保険、労働条件等)となる。

Q6 その国ならではのエピソード

1988年、フランス医師会が鍼灸医療を認め、各地の医学部に鍼灸研修課程が設置された。医師資格は、フランス国籍あるいはフランス旧植民地国籍の人に限られる。他国と比較して、医師への道は厳しく、2年生に昇級できるのは全医学生の10~15%程度で、選抜試験不合格者はパラメディカル教育へ移される。冒頭に説明の通り、専門医師資格を得るためには、さらに3~5年の研修が必要だが、収入が少ない鍼灸専門医の最近の登録者数は約6000人程度と変動していない。

Q7 現地最新事情、ニュース、流行の手法

1997年、EU議会は「類似医療行為」に関するEU法を採択し、加盟国各国に対し、国内法に統合するよう勧告したが、フランスは現在まで未実施国である。したがって、国内医療従事者や加盟国鍼灸師と鍼灸

治療に関する係争が絶えない。鍼灸術については、フランス医学部が設立当初より中医学を採用したため、日本伝統鍼灸術はまだまだ認知されていない。フランス人は伝統的に鍼治療に興味を示す人が多いが、施灸療法、特に直接灸は拒否される傾向がある。

(協力: せとうち鍼灸フォーラム代表 伊ヶ崎克己)

ドイツ

Q1 鍼灸師として働くための資格の有無

医師免許、自然療法士および助産婦。医師の監督下であれば、医師免許や自然療法士でなくても施術が可能。

Q2 日本人鍼灸マッサージ師の数、学校の数

ドイツ国内で鍼灸治療をする日本人は、知る限りでは3人ほど。学校で鍼灸治療を修得する場合には、自然療法士資格取得をサポートする学校で学ぶことになるが、このタイプの学校だと、ドイツ全体で100を超えと思われる。ただ、鍼灸専門の学校というわけではなく、ホメオパシーなど、多岐に渡る自然療法士が行える治療方法を全般的に扱うものである。医師資格保有者が鍼灸を学ぶ場合には、ドイツ鍼灸医師協会が提供するセミナーに参加しながら治療を学ぶという流れになる。

Q3 鍼を学ぶための学費の目安

各団体が主催するセミナー参加で約300~500ユーロ(約3万8000円~6万3000円)。自然療法士の資格取得には養成学校の卒業は必須ではないが、一般的には通学するケースが多く、その場合の学費は2年から2年半で、約8000~9000ユーロ(約101万円~114万円)である。

Q4 渡航前に日本でやっておくべきこと

語学習得をすることがまず第一歩。ドイツ国内で、英語での鍼灸教育を提供しているところは皆無であるため、高いドイツ語の語学力がない場合、入学することができたとしても卒業、もしくは資格取得はかなり難しくなる。

Q5 給与、雇用形態などの特徴について

大規模な診療所や大学病院であれば雇用形態をとっていることもあると思うが、自然療法士の場合には個人で開業している人がほとんど。医師資格の保有者も多数開業しているが、前述のとおり大学病院内の勤務形態をとっている場合もある。

Q6 その国ならではのエピソード

TCMが主体の治療になることから、使用される製品は鍼管なしで太めの製品が使用されることが多い印象だ。

Q7 現地最新事情、ニュース、流行の手技

前述のTCM主体の治療だが、昨今はマイルドな治療ができるということで日本鍼灸への興味・関心も高まり、セミナーなども開催されてきている。ドイツ国外でいうと、理学療法士が行うドライニードルテクニックも急速に広まっている状況がある。

(協力：セイリン株式会社 郡耕司)

スペイン

Q1 鍼灸師として働くための資格の有無

衛生上の観点から、鍼灸治療は医師しかできないとされているが、鍼を実質的に規制する法律、政令、条例、施行細則がないため、短期コースを習得した理学療法士などが開業している状況だ。現行の投薬による治療、対症療法に限界を感じ始めたスペイン人医師が「鍼」に関心を持ち、打ち始めている。そのほとんどが中国鍼。治療代は120～130ユーロ(1万5000円～1万6000円)で、「法外」とも思われる金額がかかるという話も伝わってくる。一般市民にとって、手軽な治療とはなっていない。

Q2 日本人の就労鍼灸マッサージ師の数、鍼灸マッサージ学校の数

日本人鍼灸師は、マドリッドで4、5人(国家資格所有者2、3人)、バロセローナに5、6人(国家資格所有者2、3人)と聞く。資格を持たずに、個別に施術している人の数は不明。中国鍼灸の学校は数多い。表看板だけでは把握できないが、マドリッドだけでも50～60はあるだろう。マッサージを含めばその数倍になるはず。看板なしで営業している個人コースなどは、あちらこちらにあると、スペイン人のアミーゴが教えてくれた。治療より教えて稼ぐほうが手取り早いという当世か。日本人鍼灸師には縁のない世界だが。

Q3 鍼を学ぶための学費の目安

数カ月で学費は約200～300ユーロ(約2万5000円～3万8000円)。中国鍼の学校には4年間(6000時間)で2000ユーロ(約25万円)のコースもある。日本と比べれば、雲泥の差の安さだが、法的に保護されたわけでもなく、卒業しても自らの実力

で道を切り開くことに変わりはない(基本的には前回2013年7月号と同様)。

Q4 渡航前に日本でやっておくべきこと

一年分の生活費(住居、食費、交通費、通信費など)200万～300万円程度を用意しておくこと。就労ビザを取得できても、すぐに患者をつかめるとは限らず、その間は無収入となる。最低限のスペイン語の習得が大事である。笑顔で患者を迎えるときに、自然と出る言葉、挨拶、基本的な問診くらいは、丸暗記しておいて損はない。

Q5 給与、雇用形態などの特徴について

スペイン人、あるいは中国人経営の鍼灸マッサージ店との雇用契約があれば、最低限の安定収入が確保できるが、ある程度の言葉はマスターしておいたほうがよい。就職に必要だし、また「お客」を取らないと雇用契約(当初の数カ月から1年間)も打ち切られてしまう。この場合、「被雇用就労許可」から、「自営業者労働許可」に切り替えなければならない。どちらも、最低限の社会保障費(約300ユーロ/月、4万円)の支払い義務がある。被雇用ならば、経営者が払ってくれるが、当然、稼ごのいい施術者が求められる。自営ならば、自由に動き回れるが、月4万円の出費を考慮しておかないと、資金繰りにも支障が出る。マドリッドには、日本人経営の指圧センターもある。スペイン人患者の指名を得るだけの「人間力」はつけておこう。

Q6 その国ならではのエピソード

スペインは、最近まで医療費は原則的に無料だったが、医療改革の下、一部薬代の自己負担が導入された。それでも、鍼灸の自由診療40～50ユーロ(5000円～6500円)は、庶民にとっては高いというイメージだ。しかし、何年も投薬して治癒に至らず、この先「身体を痛めつけてしまう」と危惧する患者が、鍼灸に願いを託すケースが増えてきている。単なる筋肉痛を超えた、メンタルな要素が絡む愁訴、不眠、頭痛、便秘、尿失禁、胃腸炎、甲状腺疾患、パーキンソン病、うつ病、線維筋痛症など、医師から処方された薬では症状が寛解しないことを患者自身が一番よく知っている。スペインでの鍼灸への需要は着実に増大しており、日本の若い鍼灸師にとって働き甲斐があるだろう。最近、50歳で人工授精に成功した婦人が、胎児のため、長年常用してきた抗うつ剤を止めたいと、鍼に救いを求めてきた。西洋医学の薬で、赤ちゃんを痛めつけないと未来の母が東洋医学に願いを託したのである。

Q7 現地最新事情、ニュース、流行の手技

昨今ブームの「優しい」治療に、人々は関心を持ち始めている。ヨガ、ピラティス、座禅、太極拳、気功などは特に人気がある。鍼灸に興味ある患者など、実践している人も多い。動機の一つ「痩身」も見逃せない。丸薬で色々試したが、奏功せず、東洋医学に願いを込めて門を叩く人たちが。内面と外面の「変革」に副作用のない方法で挑戦するのが、結局は「自分のため」と、人々は気づき始めた。

(協力：マドリッド 望月潤)

ポルトガル

Q1 鍼灸師として働くための資格の有無

現在、鍼灸師の資格をポルトガルの厚生省に届ける手続きをしている。ヨーロッパでは各国によって法規制が違うのでその国にあった登録となる。日本人の場合、現在持っている卒業証書、鍼灸資格を最低限、英文に変えて持つこと。

Q2 日本人の就労鍼灸マッサージ師の数、鍼灸マッサージ学校の数

日本人鍼灸マッサージ師の数は知る限りでは10人ぐらいはいる。また資格がなく営業している人もいる。特にポルトガル人またはほかの外国の人たちは資格を持たず営業している人が多い。そのため資格なく営業しているのが現状で、厚生省が法規制をする準備をしている。学校の数約10～20校ですべて私立。

Q3 鍼を学ぶための学費の目安

日本円にして100万から300万円ほどと思われる。この学費はレベルが低い割に高い。ゆえに卒業しても実際に治療をして食べていける人はほんの数人と思われる。実技の時間が完全に不足し、それを補う経験のある先生が少ない。

Q4 渡航前に日本でやっておくべきこと

外国で仕事をする場合、最低限、英語で説明できるようにしておくこと。すべての証書などを英文に変えておくこと。国によって法規制が違うのでよく調べておく必要がある。実際その国に住んでいる人に連絡を取り、調べておくことよい。

Q5 給与、雇用形態などの特徴について

ほかのヨーロッパの国と似ているが、ただ給料が安い。自営業になる場合、非常に手続きが複雑なうえ、費用がとても高くなる。

Q6 その国ならではのエピソード

30年前は、ポルトガルでは東洋医学がなく、日本の良導絡治療を取り入れ、西洋医学的な観点も入れて説明した。現在では、良導絡チャートを取り入れ、患者も安定して多く来るようになった。日本の良導絡治療は日本から出たときには武器になるのではないだろうか。

Q7 現地最新事情、ニュース、流行の手技

最新事情としては、この世界が複雑になってきているので、しっかり日本鍼灸や日本の治療の繊細さを身につけておくことよい。日本の治療の繊細さ、幅の広さ、色々な手技が期待されているからだ。スポーツ、エステティック、美容の分野で日本の治療法が望まれている。日本の技術レベルの高さが求められている。

(協力：CENTRO FUNADA 舟田俊夫)

トルコ

Q1 鍼灸師として働くための資格の有無

鍼をするために必要な資格国家資格などは存在せず、トルコ国内で認定された医師免許保有者が、国内外の鍼灸教育専門機関で一定の期間教育を受けたあとに鍼灸治療に従事できる。ただし、外国人でも中医学や鍼灸専門家として学会や大学の客員講師等に招聘された場合は、認められた範囲内で治療することは可能である。また、個人の診療所開設には保健省の認可が必要。

Q2 日本人鍼灸マッサージ師の数、学校の数

日本で鍼灸マッサージ資格を取った鍼灸師もいるが、トルコで改めて医師免許を取得する必要があるため、合法的に診療できない。鍼が学べる場所は、保健省認定下の3つの大学（イェディテペ大学、アンカラガジ大学、エルズルムアタトゥルク大学）の医学部に鍼灸専門学科が設置されているほか、鍼灸師協会や個人の企画する鍼灸習得コースがいくつか存在する。基本的に医療従事者を対象とした民間資格であるため、期間や学費は各コースによってまちまちである。

Q3 鍼を学ぶための学費の目安

私立大学の医学部は年間約4万トルコリラ（約160万円）近い学費が必要であり、そのほか個人の鍼灸習得コースも期間等によって異なり高額である。

Q4&Q5 渡航前にやっておくべきこと、雇用形態など

日本の免許では就労不可。